

保健体育科学習指導案

日 時 平成22年10月28日(木) 5校時

場 所 体育館

学 級 2年3・4組女子(43名)

指導者 教諭 小原典子

1 単元名 球技「ネット型」バレーボール

2 単元について

(1) 教材について

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。中学校学習指導要領解説によると、中学校では、小学校での学習を受けて、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームができるようにすることが求められている。したがって、第1学年及び第2学年では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする事を目標とし、特にネット型では、ラリーを続けることを重視し、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きなどによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにすることをねらっている。

バレーボールは、ネットをはさんで相対した二つのチームが、サービス、トス、スパイク、ブロック、レシーブなどの攻防を展開し、勝敗を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる集団的なスポーツである。また、チームの仲間と協力しあうことによって、その特性や楽しさを味わうことのできるスポーツで、自分の役割を果たすこと、仲間のカバーによって自分が助けられること、そのことに感謝の気持ちを持つことなど、日常生活の中で重要な仲間との関わりを、プレーを通して学ぶことのできる教材である。

(2) 生徒について

3・4組の女子は、授業にとっても意欲的である。授業が始まる5分前には、体育館や校庭に姿を現し、ウォーミングアップを始める生徒がほとんどである。準備や後始末にも積極的に取り組むが、運動能力的にはそれほど高くない。また、バレーボール部員も、3組に1人、4組に2人と少ない。

バレーボールについてアンケートをとってみた結果、40人の生徒は「好き」と答えている。嫌いとした生徒の理由は、「腕が痛くなるから」が2人、「上手くできないから」が1人であった。満足感があるのは、プレーがうまくいった時というのが一番多いが、チームで協力できた時、ハイタッチした時、ナイスと声をかけられた時など、チームとして協力しあうことに喜びを感じている生徒も多い。逆に、不満感を持つのは、人任せにしたりミスをしたりする時というのが多く、きちんとプレーしたいという意識を感じる。やってみたい技能の一番はスパイクで約50%を占めている。

(3) 指導にあたって

1年生では、「ラリーを続けること」を重視し、チームでつなぐことの楽しさ、それが得点につながった時の喜びを大切にしながら授業を行った。2年生では、ルールを工夫した中での三段攻撃を目標として学習を進めたい。バレーボールをする上で、やってみたいことのひとつが、スパイク(アタック)である。ラリーを続けることを大切にしながらも、意図的な攻撃で得点をとることの楽しさや難しさを感じさせながら学習を進めることができるよう工夫していきたい。また、バレー部は2クラス合わせて3人と少ないため、練習の流し方や、ゲームの進め方等、身につくまでには時間がかかると思われるが、段階を踏んで進めていきたい。学習を進めるにあたっては、チームで練習したり、話し合ったりする場を取り入れながら、協力することの大切さを感じさせたい。そして、常にお互いに声がけすることを意識させながら技能の習得を図っていきたい。

3 単元の目標

(1) バレーボールに関心を持ち、健康・安全に気を配り仲間と協力しあって学習に取り組もうとする。
【運動への関心・意欲・態度】

(2) 個人やチームの課題に応じた練習方法や作戦を考えることができる。

【運動についての思考・判断】

(3) チームで連携して、三段攻撃を使ってゲームができる。

【運動の技能】

(4) バレーボールの特性やルール、三段攻撃をするためのポイントがわかる。

【運動の知識についての理解】

4 指導計画（バレーボール：12時間扱い 本時9／12）

時数	学習内容	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
1	オリエンテーション ・2年次の学習内容の把握 ・個人目標、チーム目標の設定 ・パスゲーム	2年次の学習に対する見通しを持ち、学習目標を立て、意欲的に学習しようとしている。			
2	アタック練習 ・ボールを頂点でとらえる練習 ・ネットに近い、遠いボールの処理				アタックの技能ポイントを理解している。
3	アタック練習と三段攻撃① ・各種アタック練習 ・レシーブからのアタック練習	三段攻撃を成功させるための練習に意欲的に取り組んでいる。			
4	アタック練習と三段攻撃② ・各種アタック練習 ・レシーブからのアタック練習 ・三段攻撃ゲーム			相手コートにアタックでボールを打ち返すことができる。	
5	三段攻撃につなげるための連携プレー① ・センターに必ず返す円陣パス ・ネット越しのボールをセッターに返すレシーブ ・ネット越しのボールからの三段攻撃				三段攻撃を成功させるための練習方法を理解している。
6	三段攻撃につなげるための連携プレー② ・センターに必ず返す円陣パス ・ネット越しのボールをセッターに返すレシーブ ・ネット越しのボールからの三段攻撃		チームの課題を解決するための練習方法を考えている。		
7	チーム別練習と三段攻撃を使ったゲーム①		三段攻撃を使ったゲームをするための練習方法を選んでいる。		
8	チーム別練習と三段攻撃を使ったゲーム②		三段攻撃を成功させるためのポイントを考えている。		
9	チーム別練習と三段攻撃を使ったゲーム③（本時）	三段攻撃を使ってゲームをしようとしている。			
10 11 12	三段攻撃を使ったゲーム（リーグ戦）		三段攻撃を成功させるための作戦を考えている。	ポジションに応じた技能を使うことができる。	

5 本時の指導について

(1) 目標

三段攻撃を使ってゲームをしようとしている。

【関心・意欲・態度】

(2) 具体的評価規準

観点	A 十分満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
関心・意欲・態度	プレーを修正したり、チームにアドバイスをしたりしながら、積極的に三段攻撃を使ってゲームしようとしている。	ポジションの役割等を理解させるとともに、場面毎の動き方について助言し、練習させる。

(3) 指導の構想

本時は、チーム別練習と三段攻撃を使ったゲームの3時間目にあたる。展開の前半部分では、前時までのゲームを振り返り、「三段攻撃を使ったゲームをするためのチームの課題は何であるか」についてミーティングを持たせ、課題解決のためにどんな練習をすべきか考えさせたい。その後、チーム別の練習を経て、その成果をゲームで確かめさせたい。

(4) 展開

段階	学習活動 《チーム》	教師の働きかけ	○指導上の留意点 ●評価の方法・観点
導入 10分	1 準備運動 (1)ランニング (2)徒手体操 (3)ストレッチング (4)サーキットトレーニング (5)2人組対面パス	1 準備運動をしっかり行わせる。 ・(1)~(4)まではグループで行わせる。 ・(5)はチームの中でペアを決めてパス練習をさせる。	○グループ毎に、声を出してしっかり取り組ませるようにする。
	2 挨拶・健康観察	2 整列させ、姿勢良く元気に挨拶させる。	
	3 学習課題の確認	3 学習課題を確認し、目標を持って学習に取り組めるようにする。	○目標を確認することで、意欲的に学習に取り組めるようにする。
三段攻撃を使ってゲームをしよう			
展開 33分	4 ミーティングと チーム別練習	4 課題解決のために必要な練習を選択させるようにする。その後チーム別練習に取り組ませる。	
	(1)ミーティング (2)チーム別練習	(1)リーダーを中心として、しっかり意見を出し合い、練習方法を選ばせるようにする。 (2)選択した練習を行わせる。 ・場所はローテーションで(4分×3カ所)	○チームの課題をつかみ、課題解決のための練習方法を選択し練習できるようにする。 ●【関心・意欲・態度】意欲的に三段攻撃の練習に取り組んでいるか。
	5 ゲーム ・1試合のみ行う。 ・三段攻撃からスタート。 ・ラリーポイント制。 ・三段攻撃(スパイク)による得点は3点。	5 本時の目標をもう一度確認し、三段攻撃を積極的に使うよう促す。また、ルール確認を行い、スムーズにゲームが進むようにさせる。	●【関心・意欲・態度】三段攻撃を使ってゲームをしようとしているか。 ○失敗を恐れず、積極的に挑戦するよう励ます。
終結 7分	6 本時のまとめ	6 チームでミーティングを持ち、成果と課題を考えさせ、全体で発表しあい、学び合わせる。	○三段攻撃を使うことができたか、また、できなかったのはなぜか、具体的に反省させ、次回に生かすことができるようにする。
	7 次時の予告	7 次時の予告をする。	
	8 挨拶・健康観察	8 元気に挨拶させる。また、健康観察をする。	○後片づけまでしっかり行わせる。